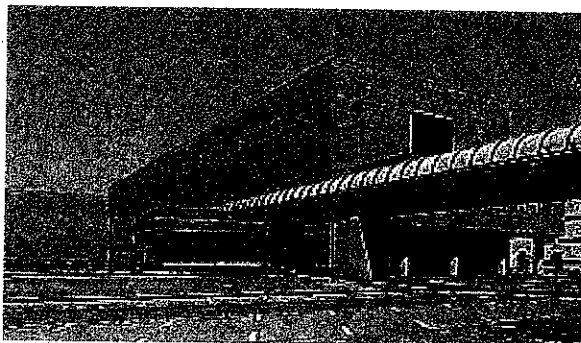


平成18年度 中央研修会募集要項

— 保健・医療・福祉従事者の人材育成、知識・技術・情報の提供 —



保健・医療・福祉の明日を見つめる

財団法人 地域社会振興財団

■ 財団法人 地域社会振興財団について

設立の趣旨

地域社会振興財団は、へき地などの地域社会が抱える諸問題について、基礎的・総合的な研究を行い、そこで生活する人々が生きがいをもって健やかに暮らすことができる地域社会づくりに貢献し、地方自治の基礎の充実に寄与することを目的として、1972年12月に「へき地振興財団」の名称で設立された公益法人です。

以来、経済社会の動きを見つめながら、そのニーズに沿った事業を行ってまいりましたが、近年地域住民の方々の高齢化が急速に進行し、地方公共団体では、これに対する適切な施策が重要な課題となっていることに着目して、これを支援する事業に取り組むことになり、名称を1989年4月に「地域社会振興財団」と改め、現在に至っております。

事業概要

§ 調査・研究事業

へき地などの地域住民の疾病の特異性、病態生理、その原因等を明らかにするとともに、それに対する有効な対策について研究することを目的として、1973年4月に環境医学部門、血液医学研究部門、病態生理研究部門、情報システム研究部門の4部門からなる「へき地生態科学研究所」を設置し、1989年5月には同研究所大宮支所を設立しました。

その後、地域社会における高齢化、少子化の急激な進行や介護保険制度の実施をはじめとする保健・医療・福祉を統合した新たな施策に対するニーズに応え、併せて全国各地の地域医療の現場に対する支援を強化するため、1998年4月に保健科学研究部門、健康福祉計画研究部門の2部門を加え、その名称を「地域社会健康科学研究所」と改め、現在に至っております。

§ 研修事業

当財団では、自治医科大学と密接な連携のもとに、地方自治体や地域医療関係団体等が推進する保健・医療・福祉事業のそれぞれの分野からのニーズに応えるべく、1975年より、研修会を開催しています。

研修会の受講対象者は、地域医療に従事する医師、保健師、看護師、医療技術者、救急隊員などの地域医療従事者や地域住民を対象としており、「中央研修会」と称し、自治医科大学内にある地域医療情報研修センターで、また、「現地研修会」と称し、全国各地で、合せて年間30回程度の研修会を開催しています。

§ 交付金交付事業

栃木県から発行される「地域医療等振興自治宝くじ」（通称＝レインボーくじ）の収益金を財源として「長寿社会づくりソフト事業費交付金交付事業」、「人材育成事業」及び「整備拡充事業費交付金交付事業」を実施しています。

長寿社会づくりソフト事業費交付金交付事業として、地方自治体が積極的に取り組んでいる長寿社会づくりのためのソフト事業に対し、都道府県を対象とする一般事業と都道府県及び市町村を対象とする特定事業の2種類の交付金を交付しています。

人材育成事業として、保健・医療・福祉事業に携わる医師、保健師及び事務の市町村職員等を対象に、保健・医療・福祉事業をプランニングするために必要な基礎的・専門的知識及び企画立案能力の習得を目的に「健康福祉プランナー養成塾」を開催しています。また、研修事業も、この一環として行っている事業のひとつです。

整備拡充事業費交付金交付事業として、我が国のへき地等地域医療の先駆的な役割を担っている自治医科大学の教育・研究に欠くことのできない施設設備や教育研究機器などの整備拡充を支援するために交付金を交付しています。



§ 日本自転車振興会補助事業

当財団の地域社会健康科学研究所の建物及び研究機器は、日本自転車振興会からの補助金により整備しています。

特に研究機器につきましては、当財団の主事業である調査・研究事業を推進する上で必要であり、高度な研究を維持するとともに、毎年度成果をあげております。

なお「地域社会健康科学研究所研究報告書」として取りまとめ発刊しています。

当財団は、今後とも、このような事業を通じ、地域社会における保健・医療・福祉事業の向上に貢献していく所存でございますので、ご協力ご支援の程よろしくお願いいたします。

Ⅲ. 健康学習研修会

【テーマ】 意識啓発と行動変容を目指した健康学習の具体論

【ねらい】 データを入口にして人間全体の健康につながる健康学習のコミュニケーション技法がつかめます。枠にとらわれない、一人ひとりの人間味を大切に生活習慣病の予防、そして生活習慣力の向上を目指した指導法の習得が求められています。

継続的意識啓発、まちづくりに向けた健康づくり、参加型方式、個の重視、評価法・・・これらのキーワードを個対個及び集団に向けた健康学習の具体的方法を実践したい方のための研修会です。

【研修期間】 平成18年6月21日(水)9時15分～6月23日(金)11時40分

【対象者】 保健師・栄養士・医師

【定員】 40名

【申込期間】 平成18年4月3日(月)～5月26日(金)【当日消印有効】

V. 保健活動研修会

【テーマ】 保健活動における調査研究の進め方 ～よりよい調査・研究を行うために～

【ねらい】 日常の保健活動にとって必要な調査・研究の方法を習得する。基本となる疫学・統計を学び、実践に即した計画を立てられるようにする。目的の明確化、適切な方法の選択(対象の選定、サンプルサイズの決定、調査票のデザイン、内容、質問項目の設定)さらに得られた結果の解析として単純集計、クロス集計、推定、検定、年齢調整などデータのまとめ方を学ぶ。エクセルを使った実習も行う。

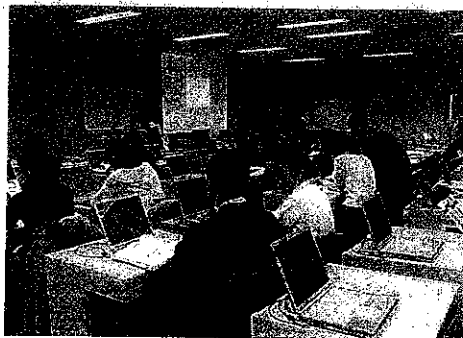
情報の発信として、実施した調査研究を論文にまとめたり、学会発表や住民に対してプレゼンテーションを行う技術を習得する。地域診断や事業評価への応用、将来の研究に役立てる。

【研修期間】 平成18年7月6日(木)9時15分～7月8日(土)16時00分

【対象者】 保健所・市町村・事業所などで保健活動に携わる保健師
看護師、保健師、学生などで研究に携わる予定の人
公衆衛生に携わる医師

【定員】 30名

【申込期間】 平成18年4月3日(月)～6月2日(金)【当日消印有効】



VI. 保健教育・ヘルスプロモーション研修会

【テーマ】 主体的なライフスタイル実践のための健康教育手法の実践展開
～セルフエフィカシイとピアカウンセリングに焦点を当てて～

【ねらい】 少子・高齢化を背景として、「健康日本21」や「健やか親子21」を推進するための「健康増進法」も制定され、改めて人々が身体的、精神的、社会的に良好な状態であるウェルビーイングやQOL（生活の質）の向上をめざした新しい健康教育が求められています。

本研修会は、地域・職域・医療・学校の各々の現場で、対象者のみならず健康教育者自身が、“これならできそうだ”とセルフエフィカシイ（自己効力感）に焦点をあて、主体的なライフスタイル実践のための健康教育が即実践展開できるように、その理論と実践手法を学びます。

そのために内容をバージョンアップし、まずは安心できる信頼関係の中でQOL探しのエンカウンターを体験学習できるように計画しました。その後、発見したQOL（豊かな人生／自己実現）の実現を目指し、セルフエフィカシイを高めながら行動変容していく行動計画のプロセスを、ピア（仲間）のサポートとともに実習していただくことにしました。仲間として寄り添って行動変容を支えるためのピアカウンセリングマインドとスキルを習得することも加えました。

新しく受講される方はもとより、今まで受講された方もぜひ再受講されることをお勧めいたします。

【研修期間】 平成18年9月8日（金）9時00分～9月10日（日）15時30分

【対象者】 ①都道府県・政令市・市町村の保健・福祉専門職（医師・保健師・助産師・栄養士・歯科衛生士・事務職・理学療法士など）
②企業体、健康保険組合などの産業衛生関係者（医師・保健師・看護師・栄養士・事務職など）
③健康教育を推進する医療機関（病院・健診機関・公共の団体・組織関係者など）
④小・中・高・大学などの健康教育を教授・研究する者（保健体育・養護教諭・専門学校・短・大学教員）

【定員】 60名

【申込期間】 平成18年6月1日（木）～8月4日（金）【当日消印有効】



VII. 口腔ケア研修会

【テーマ】 口腔ケアと全身とのかかわり

【ねらい】 今回は、口腔ケアの基本と実際、口腔ケアと全身とのかかわりについて整理確認したうえで、摂食障害に対する口腔ケアの関わりや歯科口腔外科病棟・内科・心臓血管外科などの、各職種間（医師・歯科医師・看護師・歯科衛生士など）のチームアプローチについても検討したい。

【研修期間】 平成18年9月20日（水）9時00分～9月22日（金）12時30分

【対象者】 医師、歯科医師、歯科衛生士、看護師、保健師、栄養士、介護福祉士など

【定員】 40名

【申込期間】 平成18年6月1日（木）～8月18日（金）【当日消印有効】

VIII. 健康企画・評価研修会

【テーマ】 住民が参加したくなる健康事業の企画法
～現場で使える保健事業計画に向けて～

【ねらい】 住民の積極的な参加意識が湧く魅力ある健康事業の企画法の習得が、保健医療従事者に求められています。使いたくなる保健事業計画をいかに作成し、それを実践さらに評価できる力量をつけていただきます。こなす事業でなく、魅力ある事業に向け、前準備から始まり事後の評価の方法に至るまでを具体的にどのようにしたらよいのか。まちづくりを目標に「人づくり」、「意識づくり」、「連携づくり」を総合的に加味すると生きた健康事業になります。その企画が医療費の安定、そして健康の質的部分まで意識した評価につなげるようにするにはどうしたらよいのか。健康事業の具体的企画法・評価法をつかんでいただきます。

【研修期間】 平成18年9月27日（水）9時15分～9月29日（金）11時40分

【対象者】 保健師・栄養士・担当者及び責任者（例：保健課長）

【定員】 40名

【申込期間】 平成18年6月1日（木）～8月25日（金）【当日消印有効】

XIII. 在宅リハビリ研修会

【テーマ】 使える在宅リハビリ実践法ー障害の理解と自立支援ー

【ねらい】 病院や施設で適切なリハビリテーションを受けずに在宅生活を始めた患者の多くは、廃用症候群、誤用症候等により介護を要する状態となることが少なくない。機能や能力が低下した方に対する介護サービスは必ずしも機能や能力を向上させる対応が適切になされているとは限らない。リハビリテーションと言う理念が医療に導入されて40年が経過したが、リハビリテーションと機能訓練をイコールと捉えている医療従事者が多い。この研修では、リハビリテーションの意義を理解すると共に、障害を持った方の特性を知り、適切な生活支援、介護者支援ができる医療関連職種育成を目的に行う。

主な内容は、

- ◆リハビリテーションー理念と技術ー
- ◆グループディスカッション
- ◆在宅リハビリテーションの連携
- ◆障害者の生活支援
- ◆片麻痺患者への対応
- ◆転倒患者への対応
- ◆在宅呼吸理学療法
- ◆在宅での褥瘡対策
- ◆家庭で使える福祉用具

【研修期間】 平成19年2月2日(金)9時30分～ 2月4日(日)11時40分

【対象者】 医師、看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、介護支援専門員、その他

【定員】 30名

【申込期間】 平成18年11月1日(水)～平成19年1月5日(金)
【当日消印有効】

XIV. 臨床医学研修会

【テーマ】 第一線医療に必要な知識と技術

【ねらい】 これから地域で第一線医療に従事しようとする若手医師に必要な知識、技術などを再発見する。

【研修期間】 平成19年2月23日(金)12時30分～ 2月25日(日)11時30分

【対象者】 第一線医療機関に赴く医師

【定員】 50名

【申込期間】 平成18年11月1日(水)～平成19年1月19日(金)
【当日消印有効】

中央研修会の申込方法等

申 込 方 法

1. 別添「中央研修会受講申込書」に必要事項を記入の上、「郵送」によりお申込みください。
2. 必要書類等を返送するために使用しますので、宛名を明記した返信用封筒（角2=A4サイズが折らずに入るもの）を同封してください。（切手貼付不要）
*複数お申込の際には、1通の封筒でまとめてお申込いただいても構いませんが、申込書・返信用封筒は“研修会每一人一枚”同封してください。

《申込宛先》

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-160 (財)地域社会振興財団事務局研修課

《問合せ先》

TEL 0285-58-7436 FAX 0285-44-7839

E-mail fdc@jichi.ac.jp HP <http://www.jichi.ac.jp/fdc/>

受講の決定及び通知

1. 決定は、一研修会を除き受講申込書受付け順で行います。
*なお定員を超えた場合は、調整させていただくことがありますので、ご了承ください。
2. 通知は、締切日以降若しくは定員に達した時点で受講決定通知書を送付いたします。遅くとも研修会開催の3週間前までには発送いたします。
《送付書類》①受講決定通知 ②受講案内 ③研修会の日程表 ④交通のご案内
⑤課題など
3. 定員割れし、研修効果が得られないと判断された場合には、研修会が中止になることもございますので、ご了承ください。その際お申込いただいた方には、開催中止の旨、通知いたします。

受 講 料

25,000円 (中央研修会一律)

※研修会初日の受付時に「現金」でお支払いください。

領 収 書

「受講料」の領収書につきましては、現金と引換えに発行いたします。

なお、宛名は、勤務機関名を記載しますが、他に希望する宛名がある方は、「中央研修会受講申込書」の「領収書の宛名」の欄にご記入ください。

昼 食

受講生の研修期間中の昼食は、当財団で用意いたします。

修 了 証 書

研修会の全日程を受講された方に修了証書を交付いたします。

研 修 会 初 日

各研修会の初日に、受付・開講式・オリエンテーションを行います。
なお、概ね次のとおりとなりますが、時間等が変更になる研修会もございますので、その際には受講決定通知に同封する「受講案内」にて、お知らせいたします。

- ① 受 付 9：00～9：30
- ② 開講式 9：30～9：50(オリエンテーション含む)
- ③ 講 義 10：00～

研 修 会 場

地域医療情報研修センター（自治医科大学構内施設：表紙写真）
《所在地》〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-160

交 通 ア ク セ ス

お越しになる際の交通手段については、公共の交通機関等をご利用ください。
なお、お車でのお越しはご遠慮ください。

- ① 会場の最寄駅は、JR宇都宮線の「自治医大駅」です。
- ② 自治医大駅東口から、徒歩約8分となります。
- ③ 詳しくは、「会場への交通」（裏表紙）を、ご参照ください。

宿 泊

1. 宿泊のご案内

研修会場には宿泊施設がございません。

周辺の宿泊場所としては、宇都宮市内及び小山市内となりますので各自でお申込願います。なお次の2施設は“研修受講者ご優待料金”にてご利用できます。

- ① ホテルニューイタヤ (JR宇都宮駅西口から徒歩5分)
- ② ホテルエクセルイン小山 (JR小山駅東口から徒歩2分)

宿泊施設	ホテルニューイタヤ	ホテルエクセルイン小山
アクセス	JR宇都宮駅西口から徒歩5分	JR小山駅東口から徒歩2分
室タイプ	シングル (朝食バイキングつき)	シングル (朝食サービスあり。パン・コーヒー等)
料 金	6,500円 (サービス料・消費税込み)	5,800円 (サービス料・消費税込み)
広 さ	15㎡/室	12㎡/室
研修会会場までの交通	JR宇都宮駅から上り3駅目 当研修会宿泊者数10名様以上で送迎あり *研修会開催約2週間前にホテルにご確認ください。	送迎バス無し JR小山駅から下り2駅目
<p style="text-align: center;">※在来線は上野駅で乗換え (研修会場の最寄駅)</p> <p style="text-align: center;">(在来線) 新宿駅 上野駅 小山駅 小金井駅 石橋駅 雀宮駅 宇都宮駅 至黒磯</p> <p style="text-align: center;">(新幹線) 東京駅 上野駅 小山駅 宇都宮駅 至仙台</p> <p style="text-align: center;">自治医大駅から徒歩8分</p>		
設 備	テレビ・湯沸しポット・お茶・石鹸・リンスインシャンプー・歯磨きセット・タオル・バスタオル・冷蔵庫・ドライヤー・浴衣・スリッパ	
H P	http://www.newitaya.com/	http://www.excelinn-oyama.com/
電話/FAX	028-635-5511(代)/028-633-3772(FAX)	0285-30-5555(代)/0285-30-6700(FAX)
お支払い	現金・クレジットカード可	現金・前払い(クレジットカード利用の場合優待料金適用無)

2. お申込方法

直接、各自でホテルにお申込ください。その際「地域社会振興財団の研修会に参加する。」と伝えてください。インターネットによるお申込の場合で申し出がない場合は、ご優待にならない場合がございます。

3. 申し込みの取り消し・変更

直接ホテルにご連絡ください。

平成18年度中央研修会 カリキュラムのご案内

中央研修会のカリキュラムの詳細は、決定次第、
ホームページ URL <http://www.jichi.ac.jp/fdc/>
に掲載いたします。

ホームページ

当財団の事業概要及び中央研修会・現地研修会の詳細が、ホームページに掲載されておりますので、是非ご覧下さい。

URL <http://www.jichi.ac.jp/fdc/>

現地研修会のご案内

当財団の研修事業では、今回ご案内申し上げました中央研修会の他に「現地研修会」と称し、地域住民及び地域医療従事者を対象として都道府県市町村等の保健・医療・福祉関係機関が全国各地で開催する保健・医療・福祉事業に関する研修会の開催に係わる経費等の助成を行っています。

◆ 応募要件

地域社会における保健・医療・福祉に関連するテーマをもって開催する研修会が応募対象となります。具体的には、次の事項などをテーマとした研修です。

※「住民のための生活習慣病対策」をテーマにした研修

※地域住民の方々に、教育講演等を通じて、自らの健康への関心を高めるための研修

※地域社会において保健・医療・福祉事業に携わる方々に、それぞれの事業活動を推進するにあたって必要となる技術及び情報の提供を行うとともに、関係機関の連携を深めるための研修

※地域医療に携わる医師、保健師、看護師及び医療技術者など地域医療従事者の方々に、最新の医学知識や技術の提供ができる研修

◆ 申込対象機関

都道府県市町村等の保健・医療・福祉関係機関

平成18年度中央研修会受講申込書

ご希望の研修会名	第 回	研修会
研修期間	平成 年 月 日 から 平成 年 月 日 まで	

受講者	ふりがな 氏 名				(男 ・ 女)
	生年月日	1 9 年 月 日 (歳)			
勤 務	ふりがな 名 称			病 床 数	床
	住 所				
機 関	所 属		職名(役職)	【自治医科大学卒業生】	
	職種(資格)		経 験 年 数 (職種での)	年	年卒業 (期生)
	電話番号	—	—	(内線)	
	F A X	—	—		
	メールアドレス				
* Eメールにより研修参加者との情報交換を行いたい方のみご記入ください。					
領収書の宛名					

切り取り線

★研修会受講申込みに係る連絡先

ご連絡方法	* ご都合のよろしい方法を選択の上ご記入願います。
1 電話番号	
2 メールアドレス	
3 FAX	

★その他・ご要望

上記のとおり申し込みます

平成 年 月 日

申込者氏名 _____

財団法人 地域社会振興財団 理事長 様

(備考) 複数お申し込みの際には、この様式をコピーしてご使用ください。

個人情報の取り扱いについて

研修会受講申込書に記載された皆様の個人情報は、当該研修会にのみ使用させていただきますので、ご了承をお願いいたします。

また、この中から、受講者名簿として必要な情報を掲載し、研修会初日に全受講者に配布させていただきますので、併せてご了承をお願いいたします。